

## 高坂和導 (こうさかわどう)

1947年、青森市生まれ。北海道教育大学在学中に宇宙文明を地球に導入する活動に入る。アイヌ民族の地、北海道平取町で宇宙人を迎えるためのピラミッドを建設。東京の調布市の児童会館で小学生を対象に宇宙セミナーを開催、南米での宇宙考古学会に出席するなど宇宙考古学に従事。40年前にはテレビ等でUFOを呼び話題となったのを機に皇祖皇太神宮の竹内文書を研究。立証するために海外でのフィールドワークを続ける。1974年に「宇宙人のなぞ」、1995年に超図解「竹内文書Ⅰ」超図解「竹内文書Ⅱ」「竹内文書」、超古代アメリカに行く(徳間書店)、2002年に「トンデモ発想で生きてみないか？」(サンマーク出版)を執筆。その間にジュゴンさんと出会い、1999年、ダマヌールを訪問し故ファルコ氏とフェニーチェ氏と出会う。2002年10月17日他界。

## フェニーチェ・フェルチェ

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌールの創立メンバーの一人。スピリチュアルヒーラー。死に関する準備教育の第一人者でもあり、かつてローマで開催された「死に関するシンポジウム」では、ダライ・ラマ法王と共にパネラーを務めた。秘教的物理学・ダウジング・インナーハーモニゼーション・セルフ学的催眠療法・アストラルトラベルのスペシャリスト、古代エジプト哲学とミステリーの研究者として国際的に活躍している。



## 三和導代 (みわみちよ)

学生時代に高坂和導の講演会に参加したのがきっかけで結婚。私立高校の教員として5年間勤務後、旅行業界に転職。その後、海外青年協力隊でガーナに2年、NGOの活動で東京〜マリ共和国を4年間往復。海外の秘境旅行専門の企画、販売、添乗業務に携わる。2002年に高坂和導が他界後、高坂が残した竹内文書を英語、西語、仏語、伊語で翻訳出版。2013年に竹内文書の世界を紹介する日本語版と英語版の映像を完成。2014年ヒカルランドより「ヴィジュアルガイド竹内文書」、2017年には「竹内文書でわかった太古の地球共通文化は縄文JAPANだった」を改訂版として出版。現在はフリー海外旅行のプロデュースや縄文文化を探索しながら、講演活動を継続中。

ホームページ  
[www.takenouchi-documents.com/](http://www.takenouchi-documents.com/)

## ジュゴン・クスノキ

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。スピリチュアルヒーラー。2003年よりダマヌール在住市民。ダマヌールのメディテーションの学校・インナーハーモニゼーション・アストラルトラベルの公認インストラクター。ダマヌールでの体験、豊富な知識、ダマヌールの思想、哲学への深い理解からなされる通訳は多面的で複雑なダマヌールを知る上で欠かせない存在として高い評価を得ている。著書に「ダマヌール 未来への光」。

## DAMANHUR ダマヌールとは

ダマヌールは、北イタリアのアルプスの麓、トリノ郊外に位置する欧州最大のスピリチュアルコミュニティの連合体です。1975年、哲学者でヒーラーであるファルコ・タラッサコ(オベルト・アイラウディ 1950 - 2013)の着想から生まれました。彼の啓発的で実践的なヴィジョンは、互助・共有相互の思いやり・環境への敬意に基づく豊かなリアリティーを創造し、2005年9月、国連の「グローバルな人間の共同社会フォーラム2005賞」を受賞。持続可能な社会モデルとして認められました。独自の憲法や補通貨をもち、世界中の社会科学・芸術・精神性・環境の持続可能性の分野の学者や研究者の関心を集め、何千人もの訪問者を受け入れています。

日本語ホームページ [www.damanhur.jp](http://www.damanhur.jp)

フェイスブック <https://www.facebook.com/damanhur.jp>